

## 英語 (English )

担当教員名	松田 安隆	
学科・専攻, 科目詳細	都市システム工学科 5年 前期 2単位 学修単位 講義	
学科のカリキュラム表	一般科目 必修科目	
共生システム工学の科目構成表	教養科目 外国語系	
学習・教育目標	共生システム工学	A-2(20%) B-1(30%) E-2(50%)
	JABEE基準1(1)	(a)(f)
科目の概要	グローバル化時代の技術者として必要な英語力をつけるために、英語の語彙力や読解力を向上させる。また、読解に必要な構文や文法の知識を身につける。	
テキスト(参考文献)	コンパクト英語構文90 (数研出版)	
履修上の注意	前もって配布された課題を確実にやってから授業に出ること。 日々の自宅学習によって英語力の向上に努めること。↑ 理由なき遅刻や欠席で受験できなかった小テストは0点扱いとする。	
科目の達成目標	(1)英語の内容を読み取り、英文を書く練習を通して英文読解力や作文力をつける(学習教育目標 E-2)とともに必要な語彙力をつける。 (2) 付属CDを用いるなどしてヒアリング力や英語運用能力の向上をはかる。(学習教育目標 E-2) (3)現代社会に関する様々な題材を扱い、技術者として必要な国際性など、幅広い教養を身につける。(学習教育目標A-2・B-1)	
自己学習	英文雑誌およびインターネット等を通じて、継続的に異文化理解に有益な情報を収集し、英語の速読力の向上をはかる。 e-learningにより英語運用能力を向上させる。	
目標達成度(成績)の評価方法と基準	合格の対象としない欠席条件(割合)	1/4以上の欠課
	評価方法 (1)定期試験(70%) (2)随時実施される課題(e-Learningによる課題を含む)・小テスト・平常の発表等(30%) (1)定期試験: ・まとまった英文から必要な情報を速く的確に読み取ることができる。 ・伝えたいことを適切な英語で表現できる。 (2)小テスト ・基礎的な語彙を正しく使いこなせる。 (3)e-Learning ・期限までに、十分な分量の英文演習を行える。 この配分に基づく評価点が60点以上の者を合格とする	
連絡先	matsuda@akashi.ac.jp	

授業の計画・内容	
第1週	<b>オリエンテーション、第1章 It中心の構文</b> It is ~ to ... 等
第2週	<b>第2章 不定詞を含む構文</b> have something to do with ... 等
第3週	<b>第2章 不定詞を含む構文 2</b> make O 原形不定詞 等
第4週	<b>第3章 分詞を含む構文</b> S V C (分詞) 等
第5週	<b>第3章 分詞を含む構文 2</b> Having spent, I ... (完了形の分詞構文) 等
第6週	<b>第4章 動名詞を含む構文</b> remember ~ing ( ~した覚えがある ) 等
第7週	<b>第5章 関係詞を含む構文</b> 前置詞 + 関係代名詞 等
第8週	<b>中間試験実施</b> 前半のまとめ
第9週	<b>中間試験の返却 第6章 否定構文</b> not ~ all (部分否定) 等
第10週	<b>第7章 助動詞を含む構文</b> used to ~ (よく ~したものだ) 等
第11週	<b>第7章 助動詞を含む構文</b> may as well ~ ( ~したほうがよい) 等
第12週	<b>第8章 仮定法を用いた構文</b> 仮定法過去 等
第13週	<b>第8章 仮定法を用いた構文</b> suggest that A ~
第14週	<b>第9章 接続詞を含む構文</b> 命令文 + and ~ (・・・しなさい、そうすれば ~) 等
第15週	<b>第9章 接続詞を含む構文 2</b> so that A can ~ (Aが ~できるように) 等
<b>期末試験</b>	